

北総鉄道が千葉ニュータウン鉄道(株)へ支払う

小室・印旛日医大間の「線路使用料」

同じ線路の使用料が



京成電鉄 スカイライナー
アクセス特急

3億7535万円

小室

千葉ニュータウン鉄道の線路

印旛日医大



北総鉄道
普通 特急 急行

25億2714万円

年間走行距離は、京成49万km 北総62万kmで大差なし

運賃の全額

北総鉄道が売り上げる

北総鉄道の「払い過ぎ」を直せ

線路を貸すだけを業とする千葉ニュータウン鉄道(株)は「小室・印旛日医大」間の線路をスカイライナー運行の京成電鉄にも貸しています。京成電鉄と北総鉄道の線路の使い方に大差はないのに、線路使用料は大違い。100%親会社である京成電鉄には約3億8千万円なのに対して、北総鉄道はその7倍の約25億3千万円(27年)。北総鉄道の払い過ぎは明らかで、これを正すだけで運賃値下げの原資が生まれます。

「線路使用料」に消える

北総線の路線は「京成高砂・印旛日本医大」間ですが、北総鉄道所有の線路は「京成高砂・小室」間で、その先は千葉ニュータウン鉄道(株)の所有。北総鉄道は「小室・印旛日医大」間はこれを借りて走っています。この事業形態を第2種事業者といい、乗客を運んだ運賃収入の中からコストとしての線路使用料を支払い、残りから営業利益を上げるのが普通の姿。しかし北総鉄道の場合、「小室・印旛日医大」間の乗客から得た運賃の全額を線路使用料として千葉ニュータウン鉄道へ支払い、手元には何も残らないという、ありえない契約を結んでいます。

この契約が結ばれたのは昭和63年で、線路が「千葉ニュータウン中央」までしか通っていなかった時代。その後、「印西牧の原」「印旛日本医大」と開通しても契約は昔のまま。いくら乗客が増えても、収入が全て線路使用料に消えるという不合理が続いています。問題があるのに誰も正そうとせず、ありえない事態が何十年も続いているのは、まさに「豊洲市場問題」と同じ。こんな不合理の存続は許されません。

これは千葉NTTの「豊洲市場問題」間だ

線路使用料の取決めとは？

北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道（以下、千葉NT鉄道）の協定は、「小室・印旛日医大間」の線路使用料等を次のように取り決めています。

「鉄道施設及び車両の使用料は当分の間（公団鉄道の収支が損益計算上累積欠損が解消するまでの間）都市基盤整備公団鉄道区間の運輸収入相当額を使用料とする」。

これは都市基盤整備公団（現UR）が施設所有者だった時代の条文で、所有者が千葉NT鉄道株式に替わった後も「公団鉄道」を「千葉NT鉄道」と読み替えて引き継がれています。

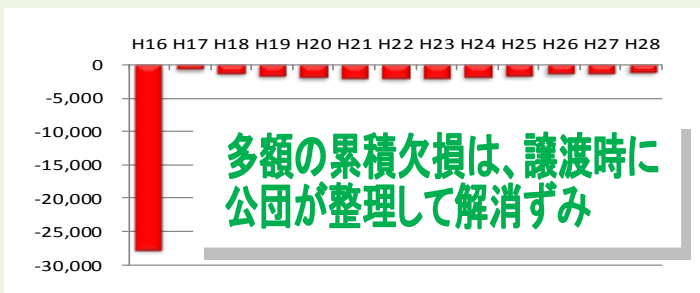
この協定の更新期間は10年毎。直近では平成20年3月に自動更新しており、次の更新期日は来年の平成30年3月となっています。

千葉NT鉄道の奇妙なスタート

「小室・印旛日医大間」の線路施設を建設、平成16年まで所有していたのは都市基盤整備公団（現UR）。小泉内閣の特殊法人合理化による鉄道事業の廃止と、北総線を利用した成田新高速鉄道構想の具体化の話が重なった流れの中で、国、千葉県も加わり公団鉄道の京成電鉄への身売りが決まりました。

平成16年、京成電鉄が資本金1千万円で設立、簿価193億円の鉄道施設を千葉県が43億円補助し、150億円で引き継いだのが千葉NT鉄道株式です。事業は鉄道線路を貸すだけで、従業員は僅か二人。社長は平田憲一郎氏（北総鉄道社長・京成電鉄副社長）。北総鉄道社長の立場で千葉NT鉄道に「払い過ぎ」の便宜を与える奇妙な京成のトンネル会社です。

協定は線路使用料を「公団鉄道の累積欠損が解消するまでの間、運輸収入相当額」と書いています。所有者が都市基盤整備公団から千葉NT鉄道に替わっても協定文はそのまま。だが、「累積欠損」の実態は大違いです。グラフの一番左は平成16年、公団決算の累積欠損額で276億円。その右は平成17年で千葉NT鉄道に替わった初年度の欠損額。前年迄の大幅累積赤字は譲渡に当り公団内で処理。千葉NT鉄道は赤字ゼロからスタートし平成28年3月時点での累積赤字は12億円です。初めの協定時とは事情が全く違ってきます。



協定は線路使用料を「公団鉄道の累積欠損が解消するまでの間、運輸収入相当額」と書いています。所有者が都市基盤整備公団から千葉NT鉄道に替わっても協定文はそのまま。だが、「累積欠損」の実態は大違いです。グラフの一番左は平成16年、公団決算の累積欠損額で276億円。その右は平成17年で千葉NT鉄道に替わった初年度の欠損額。前年迄の大幅累積赤字は譲渡に当り公団内で処理。千葉NT鉄道は赤字ゼロからスタートし平成28年3月時点での累積赤字は12億円です。初めの協定時とは事情が全く違ってきます。

市議会 県議会 国会で質問

さらに追及へ

北総鉄道の不合理な線路使用料問題は、市議会、県議会、国会関係で問題視。今後さらに追及へ

市議会

- ◇白井市議会
- ・多田育民議員 28・9
- ・柴田圭子議員 28・9
- ◇印西市議会
- ・山本 清議員 29・2

県議会

- ・丸山慎一議員質問 (共産) 28・9
- ・藤代政夫議員質問 (市民ネット) 28・12

国会関係

- ・前原誠司議員 28・12 (民進・元国交大臣)
- 宮川13区総支部長通じ 国交省へ聞き取り調査)

- ・斉藤和子議員 28・12 (共産)

「北総鉄道の運賃に関する質問主意書」を提出

更新時（来年3月）に不当な「線路使用料契約」を見直せ